

座学研修「ガイドが楽しくなる基礎知識」

11月29日午前10時から12時まで、浜松市民協働センターにて当会会員対象に標題の座学研修が行われました。55名の参加者があり、講師の大村会長に私たちの一番身近にある「神社」について丁寧なレジメに沿って、スクリーンに写し出される画像と共に大変解り易く講義をしていただきました。

講義内容の要点は次のようなものでした。

文科省把握によると神社の数は8万5千社・無名を入れると10万社にも及ぶとか。

自然崇拝の日本の宗教として神道があります。その昔、神としての崇拝の対象は山岳、河、海、湖、森、巨岩、巨木、沼、天体などの自然が対象でした。必要のつど、準備をし、対象物に神が天から降りてくると信じられていたようで、天白磐座遺跡(てんぱくいわくらいせき)はその最たるもののなのです。

神社とは神道による祀りの拠点であり、鎌倉時代頃から祀りが固定化して、神様の呼称と神殿が常設されました。神も常駐化し、榊や御幣を使い、神が移る手段とされてきました。そして神の対象は皇祖神、氏神、産土神、偉人、義士などになりました。神社の周りの森を鎮守の森といい、玉垣で周りを囲い鳥居を建て結界(敷地)としたのです。会員皆さんは幼少時代に鎮守の森で遊んだ懐かしい記憶が少なからずあるのではないのでしょうか。木々に囲まれ神に見守られ、子供たちにとっては安心できる場所でした。

神社祀りの基本として、祭神は偶像崇拝で姿を見せません。祭神には鏡、刀、幣(ぬさ)、木舟、石などがあり、祀りの建物は原則、拝殿、幣殿、本殿と続き周囲は瑞垣(みずがき)で囲われています。八幡神社、大蒲神社などで基本的な配置が見られます。

神社といえば鳥居です。語源は古事記によると、天照大御神が天岩戸隠れするとき、入り口で鶏を鳴かせて岩戸を開こうとしたときの鶏の止まり木が鳥居のルーツとか、東南アジアの農村の稲はぎ(三輪鳥居)が原型とか諸説あり定かではありません。神域や参道を示す一種の門で、一般世界との結界の役目があります。基本構造は二本の柱と二本の横木からなり、材質は杉、檜、石、陶器、銅、鉄、アルミ、コンクリートなどで、一基、二基と基石などと同じ基で数えます。神明鳥居系、明神鳥居系の区分があります。散歩がてら、あちこちの鳥居を見比べるのも楽しいですね。

神社の守り神の狛犬は、平安時代には魔除の霊獣として獅子、狛犬が一对で宮中に置かれ、門扉、几帳、屏風の揺れ抑えとして使われ、木製金箔塗で小型のものでした。

浜松市内の古い石の狛犬としては、都毛利神社320歳、松尾神社350歳!まさに霊獣。

その他、神社の屋根、詰組の種類、建物様式、門の様式等々、盛りだくさん。

日本の伝統文化の良さを再認識し、ガイド活動への意欲湧く、あっという間の2時間が経過しました。今年はこれらの基礎知識をふまえ、おみくじに一喜一憂するだけではなく、新たな気持ちで充実した初詣をすることができました。



研修会の様子

18・19 期生 合同フォローアップ研修会

平成 29 年 12 月 11 日ホテルコンコルドにて、ボランティアガイド 18 期生、19 期生の合同フォローアップ研修会が開催されました。

会長、副会長、事務局長、会計、専門部長、各ブロック長の計 14 名と、18 期生 12 名（男性 8 名、女性 4 名）、19 期生 15 名（男性 9 名、女性 6 名）と総勢 41 名の参加を得て実施しました。



大村会長開講挨拶

開催にあたり大村会長より、次のような挨拶がありました。

- ①今年は、「直虎」の関係で大変忙しかったですが、ご協力ありがとうございました。
- ②今の時期(入会后3年間位)に一生懸命勉強してください。興味があって新鮮なうちが良いです。それが今後の活動の基礎になり、大変助けになります。
- ③「家康」だけでなく、浜松の産業等も案内できるように、「浜松あれこれ」の資料を配布しましたので参考にしてください。また、犀ヶ崖の「本多忠真の碑」の碑文の資料も配布しましたので、読んでみて下さい。

挨拶終了後、各ブロック長より参加者の紹介がされました。

今回は、フォローアップ対象者に、事前に 11 項目にわたってアンケートを実施し、集約結果を鈴木事務局長より説明がされ、主だったものについては大村会長よりコメントがありました。

また、北ブロック長の西村さんより「浜松あれこれ」と題して、浜松の世界一・浜松の生産量日本一・農業日本一・日本初の工業についてミニ講座が行われました。

この後、各テーブル別で 20 分程度意見交換会がされ、各テーブルの代表者が内容の発表をしました。出された主な意見としては次の通りです。

- ①駅インフォメーション職員の指示に従うのが基本ですが、もっとお客様に声を掛けていきたい。
- ②学術的なことでなく、お客様に歴史の全体的な流れが分かってもらえるようなガイドを心がけている。
- ③犀ヶ崖資料館の勤務時間が長いという問題については、西ブロックは、半日単位の当番制を採用して調整している。
- ④浜松駅北側コインロッカーの両替機が赤ランプが点灯していて使えない時が 2 回もあった。
- ⑤18 期生は 27 名入会したが、現在は 14 名である。また、17 期生もずいぶん退会したと聞いているが、原因を分析して今後の参考にされたい。
- ⑥フォローアップ研修会は、もう少し早い時期（入会后半年位）に開催した方が良いと思う。
- ⑦犀ヶ崖資料館と浜松駅の当番週が同じため、一週間に二日拘束されるのは厳しいと思う。浜松城、犀ヶ崖資料館、浜松駅での当番週が重ならないようにしてほしい。
- ⑧三ヶ所の当番週を重ならないようにとの提案には反対で、現状の当番週であれば拘束される週が二週間で済む。

上記⑦および⑧の意見については、鈴木事務局長から、当番週の組み合わせ方については、ブロック長会議で検討されたい旨、コメントがありました。



18 期生の皆さん



19 期生の皆さん

2 時間にわたり有意義な研修会でありました。

18 期生の皆さんの中には、すでに専門部員として活躍されている方もいます。

「はままつ案内人」のキャッチフレーズである“明るく楽しくやらまいか”の精神で、今後の更なるご活躍を期待します。

広報部 小池輝夫（東ブロック）

「浜松観光ボランティアガイド」養成講座(前編)

平成 29 年度の「浜松観光ボランティアガイド」新人養成講座が 1 月 15 日から 2 月 19 日に掛けて、毎週月曜日に、全 6 回にわたって開催されます。受講申し込み者は 12 名(男性 10 名、女性 2 名)でしたが、残念ながら女性 1 名が 2 回目以降の受講を辞退されました。

講座内容は 1 回目「楽しきかな案内人＝大村会長」「新人体験談＝19 期生」、2 回目「城とは＝古山貴朗氏」「浜松城内展示物＝谷晃氏」、3 回目「浜松城現地研修＝研修部員」、4 回目「浜松時代の家康の戦＝杉本忠久氏」「家康について＝鈴木利雄氏」、5 回目「家康の散歩道＝川上英三花氏・桶田忠正氏」「犀ヶ崖資料館＝益田啓子氏」、6 回目「浜松あれこれ＝伊藤道代氏・鈴木延夫氏」「質疑応答」といった内容で進められます。



体験発表(西ブロック吉山万智子さん)

今号では 1 回目から 3 回目までの実施概要を報告します。

「新人体験談」は、19 期生の古本俊夫氏(南ブロック)、諏訪進氏(東ブロック)、吉山万智子氏



写真を見せながら説明する杉本さん

(西ブロック)の 3 人の方から、それぞれの体験談の発表がありました。終了後、受講生に感想をインタビューした折に、“皆さん生き生きとして活動の様子が目に浮かぶようでした”との感想が聞かれました。

3 回目の「浜松城現地研修」は、野面積石垣・天守門・埋門・屏風折れ・鉢巻石垣・出隅・天守門鏡石・布積・富士見櫓・入隅・本丸曲輪・乱積・作左曲輪・東照宮・堀切・玄黙口門跡・下垂口跡・松下屋敷跡・水堀跡・瓦門跡等を巡りながら市役所にて解散しました。風が強く寒い日でしたが、受講生、研修部員、会員一般参加者の皆様お疲れ様でした。

広報部 小池輝夫(東ブロック)

丸岡城を訪ねて

昨年末に学生時代の同窓会が北陸であり、福井と金沢を旅しました。福井では私の強い希望で丸岡城を訪れる機会に恵まれました。当日は生憎の小雨模様で昨日までの雪は溶けてしまい、期待していた雪景色の丸岡城を見ることは出来ませんでしたが、駐車場からの急坂を 5 分ほど上り詰めたところに悠然とした、美しい天守が現れた時には感動を覚えました。

丸岡城は天正 4 年(1576 年)に柴田勝家の甥の勝豊によって築城されましたが、さすが現存 12 天守の中で最古の天守と言われるだけあって、戦国時代末期の望楼式天守の優美な外観には目を見張るものがありました。と、同時にこの外観はどことなく浜松城に似ているなど感じました。

浜松城天守は天正 18 年(1590 年)に堀尾帯刀吉晴により築城されましたが、江戸時代初期に落雷か地震による被災により天守は崩壊、或いは豊臣臣下時代の築城ということでの取り壊しなど諸説ありますが、天守はその後江戸期を通じて再建されなかったと言われています。

天守の絵図や図面は残念ながら資料として現存しておらず、浜松城天守を昭和 33 年(1953 年)に復興天守として再建する際に参考にしたのはどこの城の天守だったのか、堀尾吉晴が松江へ転封となってから築城した松江城という説、或いは現存 12 天守で最も古い丸岡城という説などありますが、こうして実際に浜松城天守と比べてみると私見ながらおそらく丸岡城をモデルにしたのではないかと思います。皆さんも是非訪問していただいてどちらの城を基にしたのか、思いをめぐらしてみてください。



丸岡城

西ブロック 谷 晃

◆お 知 ら せ◆

会のホームページを見ましょう

当会では、「はままつ案内人」と「犀ヶ崖資料館」のホームページを公開しています。

その内容は毎月担当者会議で確認し、必要がある場合は更新しています。「はままつ案内人ホームページ」は1月に、「犀ヶ崖資料館ホームページ」は昨年9月に更新しました。更に見やすくなるように検討中です。

ホームページを確認ください。また、お知り合いにも紹介ください。お気づきの点がありましたら、各ブロックの広報部員に連絡ください。

各ホームページの開き方は次の通りです。

English version は作成中ですが、「はままつ案内人ホームページ」の左列下段に現状の English version へのリンクが張られています。

1. はままつ案内人（浜松観光ボランティアガイドの会）ホームページ（右上）
インターネットエクスプローラーなどのアドレス欄に“はままつ案内人”と入力し、エンターキーを押す。

現れた画面の一番上に“浜松観光ボランティアガイドの会”が表示されます。それをクリックすれば「はままつ案内人ホームページ」に移ります。このページを「お気に入り」に登録する。

2. 犀ヶ崖資料館ホームページ（右下）

インターネットエクスプローラーなどのアドレス欄に“犀ヶ崖資料館”と入力し、エンターキーを押す。

現れた画面で“犀ヶ崖資料館 - 浜松観光ボランティアガイドの会”をクリックすれば「犀ヶ崖資料館ホームページ」に移ります。

このページを「お気に入り」に登録する。



1月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所の他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

複数回来場のあった団体			
* カッコーツアー	8回	177名	
* RSO	3回	101名	
* GOGOJAPAN	2回	51名	
* 農協観光	2回	29名	
7日 日	クラブツーリズム歴史への旅	22名	
22日 月	岐阜乗合自動車(株)	45名	
27日 土	聴覚ろう重複センター	28名	
28日 日	梅友会	28名	
	(株)リョービツアーズ岡山支店	20名	
31日 水	トラベルステーション	20名	
*	上記以外に20名未満の21団体	206名	

《犀ヶ崖資料館》

7日 日	クラブツーリズム	21名
	遠鉄バンビツアー	29名
28日 日	JR さわやかウォーキング	740名

《浜松まつり会館》

9日 火	江戸川個人タクシー事業協同組合	81名
18日 木	伊佐見小学校	94名
23日 火	なごやオーナー部会 富田支部	20名
	静岡大学情報学部	65名
24日 水	藤枝商工会議所	23名
*	日曜対応	4日 148名

はままつ案内人会報 191号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町 100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

浜松観光ボランティアガイド

検索



出世大名 家康くん

出世法師 直虎ちゃん